

KIS 国際物流ニュース！（2018年9月号）

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



未来投資戦略2017 船舶の自動運転の取り組み

陸上の乗用車やトラックの自動運転技術の実用化は、交通事故の減少や渋滞緩和、物流においてはトラックのドライバー不足の解消などを目的とし日々頻繁に耳にするようになりました。

自動車運搬船の車両積み込みをみていつも思うのですが、港から船内への積み込みは自動運転化できるのではないでしょうか？ドライバーの方が運転し、バスに乗って降りてきてまた運転して積み込む。しかし高度な運転テクニックと積み込み管理者の配置ノウハウが必要な職人技なので、自動化は難しいのかもしれませんが。

海上は？という着実に進歩している「船舶」の自動運転。未来投資戦略2017には、2025年に向けて国際規格の策定法整備など日本政府の取り組みが挙げられています。

船舶の自動運転はこれまで外洋でのオートパイロットとして進化しています。今は、船舶が輻輳する港湾での衝突回避の研究が進められています。船舶の衝突回避は、自動車と違いブレーキをかけることはできませんので、周囲の船舶、障害物をニアミス段階で発見し回避する、衝突事故の原因となる原因船の進路予測の精度を上げ、避航船の動静を制御するといったことのようにです。GPS（全地球測位システム）の精度向上とともに過密な運航であっても安全で快適な航海が実現するかもしれません。

自社の物流レベルはどれくらい？ 3分でできる物流診断（物流センター&在庫管理編）

NECが提供している「物流クイック診断」をご紹介します。

これはロジスティクス革新をご検討されている皆様が、無料で取り組める物流WEB診断です。

簡単な質問にお答えいただくと、御社の物流センターや在庫管理における優れた点や改善点を把握できます。

<活用方法>

・「入出荷業務」「作業品質」「在庫管理」「生産性管理」「サプライチェーン管理」の5つの軸から、優れた点と改善点を把握できます。

・入力後には分析レポートが出力されます

▼WEB診断 → NEC 物流システムソリューションサイトから「物流クイック診断」をクリック

<https://jpn.nec.com/logistics/index.html>